

本章では、4 重点分野を対象に大学等(大学(大学院を含む。)、短期大学及び高等専門学校)の人材供給力を調査した。

2-1 基本方針

4 重点分野の人材供給源と考えられる大学等の学科・専攻科等を、その名称を判断することにより抽出(抽出結果は別紙 1 に示す。)し、抽出した学科・専攻科等の定員数、卒業者数等を集計することで、4 重点分野の大学等における人材供給力を推定した。各分野の範囲は、明らかに当該分野と考えてまず間違いない研究領域をコア領域、当該分野に関連が高いと考えられる研究領域を周辺領域とし、コア領域のみ、コア領域 + 周辺領域の2通りの範囲を対象に人材供給力の推定を行った。

学科・専攻科等の名称は、学校基本調査に示された学科系統分類表により把握した。

なお、複数の重点分野の人材供給源となる学科・専攻科等は存在するものとして、これに該当するのは、それぞれの分野で人材供給力にカウントすることとした。

2-2 推計方法

大学等における人材供給力としては、定員数ベースの推計、卒業者数ベースの推計及び卒後の進路を考慮した推計を行った。

2-2-1 定員数ベースの推計

重点分野毎に抽出した学科・専攻科等の定員数を全国大学一覧(平成 14 年度)より把握し、当該重点分野の学校種別定員数を算出した。

2-2-2 卒業者数ベースの推計

重点分野毎に抽出した学科・専攻科等を卒業する学生数を学校基本調査より把握し、当該重点分野の学校種別卒業者数を算出した。

2-2-3 卒後進路を考慮した推計

抽出した学科・専攻科等からの実質的な人材供給力を把握するため、学校基本調査に示されている卒業者の卒業後の進路状況を把握した。